

WOODY VALLEY MODEL HARNES MANUAL

EXENSE EXENSE AIRBAG



危険・警告

- 1) 安全に正しくお使いになるために、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を最後までよくお読みになった上で、指示内容を守ってお使い下さい。
- 2) 本ハーネスはパラグライダー専用ハーネスです。その他の目的で使用しないでください。
- 3) 本ハーネスは改善等の為、予告なしに仕様・価格等を変更する場合があります。

(株)SPORTS OPA KITE

メンテナンス部 〒315-0101 茨城県石岡市大增 1900

TEL:0299-44-3642 FAX:0299-44-3939

E-MAIL:itajiki@opa.co.jp

はじめに

この度は、WOODY VALLEY MODELハーネスをお買い上げいただきありがとうございます。ご
ざいます。

エクセスハーネスは、シンプルなセッティングで簡単なコントロール性と、高い安全性を
実現出来る様、開発されたハーネスです。体に負担をかけず、大きな体勢の変更も必要とせ
ず、楽なフライト姿勢を保ったまま、十分なコントロール性能と、必要な場合の安定を生み
出せるように設計されています。バックプロテクターには安全性の高い170mmのエアー
ソフトを使用、エアーバッグと共にDHVテストで屈指の衝撃吸収性を確保しています。
なお、ハーネスを正しくお使いになるために使用上の注意、及び使用方法を正しく理解した
上でご使用ください。ご不明な点はお買い上げの販売店様、または、スポーツオーパカイト
までご連絡ください。

使用上の注意

- 1) このハーネスはパラグライダー専用ハーネスです。その他の目的には使用しないで
ください。
- 2) 本ハーネスの適正技能は、JHFの定めるA級以上の技能を有するフライヤーを基
準とします。
- 3) 本ハーネスを初めて使用する場合は、地上で十分にシミュレーションとセッティ
ングを行い、安定した大気のもとでフライトして下さい。

標準付属品など

- 1) 170mmエアーソフトプロテクター（ムースタイプ）
- 2) パラシュートトグルおよびレスキュー取付け用ゴムなど。
- 3) ウッディーバレーオリジナルカラビナ
- 4) カスタマー登録葉書（3年間補償の登録も兼ねておりますので、お手数ですが必ず
ご記入の上、ご返送下さい。）
- 5) 本説明書
- 6) シリアル番号タグ（ハーネス収納スペース背中部分にあります。）

ハーネス保管・取り扱い

- 1) 保管場所は、高温多湿および直射日光の当たる場所を避けてください。
- 2) ハーネスをつけたまま座ったり、重いものを乗せたりしないでください。
- 3) 汚れた場合は、ぬらしたタオル等で拭き取って下さい。汚れがひどい場合は、中性
洗剤を水で薄めてつけ、柔らかいブラシ等で、叩き出すように落して下さい。
- 4) 海水に浸かった場合は、塩分を真水で洗い流し、陰干しして下さい。直射日光の下
では乾かさなないでください。
- 5) パラシュートコンテナは紫外線や湿気からパラシュートを保護するように2重構造
になっていますが、ウエイティングの際などではできるだけパラシュート面を上にし
て、日陰などに置いてください。
- 6)

ハーネス保守点検

ハーネスに使用している素材は、すべて消耗品です。以下に示す保守点検を、必ず月に一
度は確実に行い、また、フライト前のプレフライトチェックも必ず実行して下さい。

- 1) すべてのベルト・生地に傷・ほつれ・切れ・摩耗等がないか
- 2) すべての金属・プロテクターに傷・緩み・錆・破損・ひび割れなどがないか

- 3) 外部・内部から見て縫製に切れ・縫いほつれ等がないか、その他にも異常が発見されたときには使用を中止して下さい。
- 4) 2年に一度はカラビナの買い替えをお勧めします。

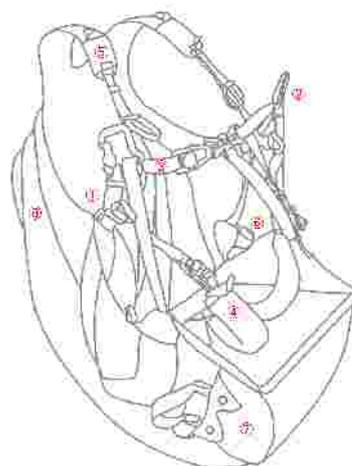
WoodyW&Ieyパラグライダーハーネスは3年間保証付きです！！

ウディーバレーハーネスについてカスタマー登録はがきをお送りいただいたお客様に、3年間保証をさせていただきます。

保証内容	<ul style="list-style-type: none"> * 通常使用による保証期間 : 3年 * クラッシュを含む使用状況を問わない保証期間 : 1年 (パーツ代や交換品については実費となります)
保障対象外パーツ (下記のパーツ及び部分については保証外・実費修理となります。)	<ul style="list-style-type: none"> * ポッドハーネスのつま先部分 (地面との摩耗部分) * ネオプレーンゴム部分 * ジッパー * 超軽量ポッドハーネス X-Alps の頭部インフレーション部分 * ハーネス本体以外の部品 (カラビナ・プロテクション・成形用アクリル板 (レキサン)・フットバー
等	
修理に際しての往復送料については、お客様負担とさせていただきます。	

各部の名称

- 1) サイド調整ベルト
- 2) フックポイント
- 3) 胸ベルト (1クリックバックル)
- 4) 足ベルト
- 5) 肩ベルト
- 6) アクセルプーリー
- 7) パラシュートコンテナ
- 8) 収納スペース



Tバックル (1クリックバックル)

エクセスハーネスは、軽量で確実な装着を可能にする1クリックバックルを使用したTバックルによる安全装置が装備されています。Tバックルは、足ベルト2箇所と、胸ベルト2箇所 (Tバックル) によってハーネスの脱着を行います。Tバックルの金具から伸びる赤いベルトによって、パイロットによるレッグベルトの装着ミスを防ぐ事が出来ます。

取り扱い方法・調整方法

サイド調整ベルト

あらかじめシミュレーターなどで調整を行って下さい。通常のスタンダードなハーネスと同じように視界が良好で、軽く後ろに腰掛けた程度での姿勢をお勧めします。

目安としては、リラックスした状態でハーネスに腰掛けた時、パイロットの肩くらいの位置でカラビナの高さを合わせて下さい。

絞め過ぎ、緩め過ぎはウエイトシフトのしやすさや、安定性に影響してきます。また、フライト中に姿勢を調整する場合は、必ず片方のベルトから調整を行って下さい。両方を同時に緩めると急激に後ろに倒れ込み全解放状態になり、非常に危険ですので十分注意して下さい。

胸ベルト

胸ベルトを締める事により安定性が高まりますが、ウエイトシフトが若干効きづらくなります。エクセスハーネスは完全に絞めた状態でもウエイトシフトは行えますが、上手く体重移動が出来ない場合は少しずつ（1回に1cm程度）広げて調整して下さい。胸ベルトの調整は、カラビナの間隔がDHVでのグライダーテスト時を大きく逸脱しないよう、42cm前後で調整されることをお勧めします。

肩ベルト

エクセスハーネスでは、肩ベルトを張る事で安定を増すシステムは採用されていません。ハーネスを装着して立った状態で、走った時に肩から外れない様、ベルトが軽く張る様に調整して下さい。肩ベルトを締めすぎるとテイクオフ時に走りづらくなりますが、緩めすぎても外れやすくなるので、適度なテンションが掛かる様調整して下さい。

足ベルト

足ベルトは、ハーネスをつけて立っている状態で窮屈過ぎず、フライト中にゆる過ぎない程度に調節してください。

緩めすぎでは、テイクオフ直後に座りなおしが難しくなりますのでご注意下さい。

1クリックバックル

プレートの穴をピンに差込み、丸いボタンが完全に出るまでプレートをスライドさせ、ロックして下さい。

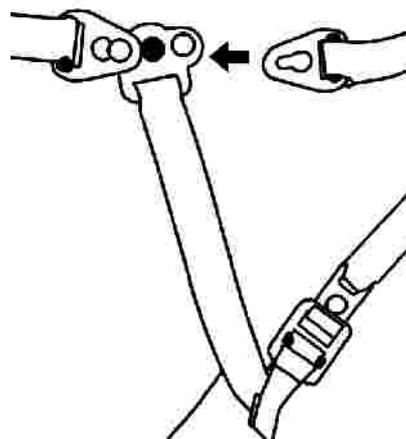
レッグベルトは、プレートをボタン側の溝にはめ込み、赤いボタンが完全に出ればロックされます。

なお、取外しの際にはボタンを押し、装着時と反対の方向へスライドさせると簡単にはずれます。

注意！

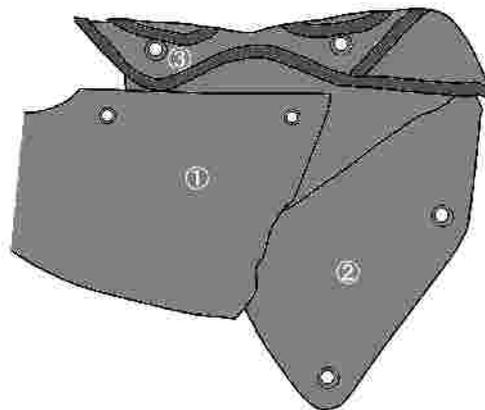
バックル装着時、ボタンとプレートの間に指を挟まないように注意して下さい。

はめ込んだら丸いボタンが完全に出るまでスライドしてロックして下さい。



パラシュート

緊急パラシュートのタブに付属の赤色のレスキュー用トグルを取り付け、ハーネス側のブライダルとパラシュート側のブライダルを接続します。（この時に必ずお互いのブライダルのセンターを確認して下さい。センターがずれていると開傘時にブライダルがセンター側へ移動し、摩擦熱と張力でどちらかのブライダルが切れる可能性があります。レスキューとハーネスの接続には専用のレスキュージョイント金具等の使用をお勧めします。）次にトグル面を上にして に付属のゴム



を通して、の順でパラシュートをコンテナに収めセーフティーピンを止めて下さい。その後、トグルの両端を、取り付け部のネオプレーン部分に差し込んでください。

取り付け終了後は実際にシミュレーター等に下げたみて、パラシュートの位置・重さ・引き出し具合の確認や、トグルを握る練習をして下さい。実際に投げる動作までシミュレーションで行う事をお勧めします。(取り付け後、最低一回は必ず実際に引き出し、不具合がないか、また引き出しの際に引く方向・重さなどを確認下さい。)また、リパック時には常に上記のシミュレーションを行う事をおすすめします。

アクセルバー取り付け

取り付け方法

まず、ハーネス下部にあるアクセルライン用リングにラインを通し、ハーネス前部横にあるアクセルライン用ガイドから中を通し、ハーネス内側と外側の布地の間から、ハーネス座板部のサイドにあるアクセル用プーリーに通して、ライザーのアクセル取り付け部に取り付けて下さい。

フロントバラストバッグ(オプション)

フロントバラストバッグ(6リットル)がオプションで装備できます。給水の際には入り口を上に向けて給水して下さい。給水の途中で、ときどき空気を抜いて下さい。空気が入ると6リットル入らない場合があります。また、大量に空気が入るとフライト中に水が左右に移動するため、安定が悪くなる可能性があります。バラストの取り付けは、カラビナを通して使用する金属バックルで行います。また、目視しやすい位置にあるバラスト上部ベルク口部分にバリオ、GPS等を取り付けることができます。更に、バラスト上部ポケットには無線や携帯電話を入れることもできます。フライト後には、水を出したバラストバック内に、バリオ・GPS等を収納することも可能です。

また、バラスト用インナーバッグを取り外す事によって小物入れとしても利用できます。

リラックスバーシステム(オプション)

セッティングおよび使用法

リラックスバーベルトをカラビナ位置から取る事によって、バーを踏み込んだ際に直接ライザーを固定し、安定させる事が可能となり、非常に高いハーネス安定を得る事が出来ます。

リラックスバーの調整は、足をほぼまっすぐに伸ばした状態で、(突っ張りすぎる状態だと長時間のフライトで足が疲れますのでご注意下さい。ひざの部分が少しか曲がるくらいがお勧めです。)腰がしっかりとハーネスに密着し、リラックスバーを踏み込んだ際にしっかりとテンションが掛かる様長さの調整をしてください。踏みこんだ際のリラックスバーベルトが、カラビナからほぼ一直線にバー部分まで行く形にセッティングするのがベストです。ベルトがガイド部でV字型になり、足が上がる場合は、踏み方が悪いかハーネスの基本的なセッティングミスです。

なお、踏み込んだ際にパイロットの重心がハーネス内で前後にずれる場合や、足を伸ばしてもテンションが掛からない場合は、グライダーを安定させる効果は期待できません。

また、旋回中に内側を強く踏む事によって、しっかりと体重移動している状態をキープできます。なお、常にベルトが張っている状態で使用すると、体重が入りづらくなる場合がありますのでご注意ください。

くれぐれもリラックスバーを使用した際に極端に体が寝たり、足が上がってしまったりす

るようなハーネスセッティングは避けてください。安定性が悪くなり、ヨーイングが出やすくなります。

取り付け方法

1. 座板前部のループベルト内に、リラックスバーのガイド用ベルトを通し



2. ベルトのループ部分に反対側のベルトを通して引っ張り固定します。



3. もう一方のガイド用ベルトのループ部に、リラックスバーのベルトを通します。



4. なお、カラビナはハーネス外側（後部）に着脱部がくるようつけて下さい。



ハーネス調整の手順

最初にパラシュートを取り付け、サイド調整ベルト・胸ベルト・肩ベルト・足ベルトの順で調整を行います。調整の仕方については、各項目を参考にしてください。また、シートポジションのセッティングを終えたところで、アクセルの調整を行います。現在ご使用のパラグライダーに合わせて調整して下さい。

なお、アクセルなどの調整はご自分のフライトスタイルにより微調整して下さい。

エクセスハーネスご使用のPOINT

エクセスハーネスは、初めてパラグライダー用ハーネスを購入する初心者からベテランパイロットまで、誰もが安心して簡単に使えるよう、非常にシンプルな調整システムを持っています。標準的なセッティングを行えば、フライト中特別な姿勢を取らなくても十分な安定を持ち、快適な座り心地とコントロール性を実現してくれます。

サイドベルトの調整は、ハーネスにゆったりと腰掛け、背中をつけた状態で肘を直角に曲げ、肘がカラビナに少し当たるぐらいの位置が適切です。締めすぎて肘がカラビナより前に出た状態や、緩めすぎて肘がカラビナから離れてしまう様なセッティングでは適切なコントロールが難しくなりますのでご注意ください。

また、初めてパラグライダー用ハーネスを使用するスクール生の方は、必ずスクールのインストラクター指導の下、フライト前にシミュレーターでハーネスの調整を行って下さい。なお、使用方法などご不明の点がありましたら、お気軽にお買い上げの販売店様、もしくは弊社にご連絡ください。

それでは楽しいフライトを！

